

おい書館

No. 45

オ一次五カ年計画に

向けて

企画部・社会教育部訪問

二〇二〇年に向けて新しい総合計画、オ一次実施計画が始まりました。中央図書館を中心とした生涯学習会館も平成十四年に着手する計画です。そこで、四年後に向けて図書館計画はどうなっているのか、企画部長と社会教育部長を訪ねました。

企画部 弓木田部長

六月中旬頃に中央図書館について社会教育部と協議したいと

思っています。生涯学習会館の基本構想づくりには市民の希望を取り入れてやると思っているので、図書館や社会教育部と良く連絡を取り合って下さい。

土地の取得については、大蔵省でも、話し合つて一本化してほしいと言っていますので、今年中に聖徳と話し合いをしたいと考えています。基本的に約八千坪全と考えているが、単純に半分ということにはしたくありません。現在の樹木も残したいです。障害者の方の利用には、駅のエスカレーターやエレベーターも考えています。民間の協力も得て、全体的に考えていかなければいけないでしょう。(談)

社会教育部 斉藤部長

時代の流れの中で、学校教育も生涯学習に含まれる時、情報提供部門として、又、学習の手段として図書館の意義は大きいと思います。財政事情が許せば、オ一次五カ年計画後期に出きるよう努力したいです。皆さんの望まれている図書館、グレイドの高い図書館を考えていきたいです。生涯学習基本計画や市民のニーズを把握して作りたいです。例えば、アンケート調査や、懇談会、建設準備会などです。図書館関連団体がいくつかあるので、会の意向も聞いていきたいです。(談)

お二人共、柔和な表情の奥に積極的な意欲を表わして、私たちの質問にきちんと答えてくれました。大いに期待したいです。



松戸市

1998年4月17日

企画部長 弓木田様
(社会教育部長 齊藤様)

おい図書館
代表 青木和子

要望書

弓木田様(齊藤様)には、連日、松戸市民のため、ご努力頂き感謝致します。

さて、中央図書館建設計画は、新長期総合計画において、オ4次、及び、オ5次5ヶ年計画に盛り込まれながら、実現されずは今日に到っております。しかし、今年度より新長期総合計画がスタートしようとしており、その実施計画において、「市民の生涯学習を支援するため、市内図書館網の中心となる中央図書館と、学習情報提供機能を中心とする生涯学習センターを併設した生涯学習会館の建設に着手する」更に「事業年度平成13~14」「14年度末建設着手」と明記されました。これは、松戸市としての大いなる前進と受けとめ、非常に嬉しく存じております。

つきましては、前記計画を実現するにあたり、同じく総合計画に唱われている「市民と行政のパートナーシップ」「市民参加システムの推進」という手法を通じて、私達市民の望む図書館づくりを進めて頂きたくお願い申し上げます。



発行 おい図書館
連絡先

青木和子

松戸市総合

八三〇一六〇

〇四七(三六七)

五三八四